

## 愛知県における標準化事業への取り組み

### ～精度管理調査における取り組み～

◎岡本 明紘<sup>1)</sup>、森部 龍一<sup>2)</sup>、窄中 美帆<sup>2)</sup>、齊藤 翠<sup>2)</sup>、菊地 良介<sup>2)</sup>、佐野 俊一<sup>2)</sup>、岡田 元<sup>2)</sup>、中根 生弥<sup>2)</sup>

日本海員掖済会 名古屋掖済会病院<sup>1)</sup>、公益社団法人 愛知県臨床検査技師会<sup>2)</sup>

#### 【はじめに】

公益社団法人愛知県臨床検査技師会では、県下の医療関連施設の施設間差の是正を目的に平成10年に第1回精度管理調査を開始し、現在に至るまで21回の調査を毎年継続してきた。また、精度管理調査において改善が必要と思われる施設を精度管理担当者が抽出し、『結果検討会』を開催してきた。結果検討会では、精度管理担当者と基幹施設委員が中心となり、参加施設との少人数グループディスカッションを通して、評価についての解説や、その後の是正対応についての話し合いを行っている。今回、化学・免疫部門におけるこれまでの結果検討会の招聘施設・参加施設の推移を調査するとともに、結果検討会の詳細と参加施設からの評価について報告する。

#### 【調査対象】

平成21年から平成30年の10年間に実施した愛知県臨床検査精度管理調査で、結果検討会招聘施設と実際の参加施設の推移を調査した。なお結果検討会には、愛知県臨床検査精度管理調査、生化学・免疫血清部門においてC評価2項目以上もしくはD評価1項目以上の施設を招聘対象とした。また、平成30年度の結果検討会参加施設から得られたアンケート評価について集計を行った。

#### 【結果】

結果検討会招聘施設は生化学部門で15から33施設、参加施設は3から15施設で、参加率は38%であった。免疫部門では招聘施設は1から9施設、参加施設は0から4施設で、参加率は35%であった。平成30年度結果検討会招聘施設は全部門で61施設あり、そのうち21施設の参加があった。参加施設から得られ

たアンケートでは、75%の施設が『大変満足』、25%の施設が『満足』という結果であった。参加施設からは、『少人数であったために質問がしやすかった』、『精度管理調査以外のアドバイスももらえて有意義であった』といった意見があった反面、『一つの会場で全部門が同時開催しているために、周りの声で聞こえないことがあった』といった改善が必要と思われる意見もあった。

#### 【まとめ】

愛知県における精度管理事業は開始から20年を超え、その間に多くの項目において測定値は収束しつつあるが、全ての施設で良好な結果が得られているわけではない。精度管理調査で評価の思わしくなかった施設においても、使用機器・試薬・測定環境が違えば求められる対応策も違ってくるが、精度管理調査の結果のみではそこまで詳細な情報を得ることは困難である。結果検討会では、直接施設と対話することができ、検査室の精度管理状況を知ることによりよい改善策を見出すことが可能となる。今回の調査で、結果検討会への招聘施設およびその参加率は年度により様々であるが継続的な参加が認められ、また参加施設からも高い満足度が得られていることが分かった。今後は、現在の取り組みを継続していくとともに、より多くの施設が結果検討会に参加できる環境を整えていき、愛知県内の施設間差の是正に貢献できるよう取り組んでいきたい。

連絡先 052-652-7711